平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡA(SeminarⅡA) 【高橋ゼミ】			授業コード	E002418
担当教員名	高橋　淳一郎			科目ナンバリングコード	E21201
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	現場での実践を伴います。自ら進んで参加することが求められます。				
受講心得	ゼミナールなので、自分の興味・関心のあることがらについて、積極的に学習してください。				
教科書	指定しない				
参考文献及び指定図書	必要に応じて授業の中で紹介します。				
関連科目	こども・福祉マネジメントコース科目全般				

授業の目的	近年の心理臨床の現場では、予防的心理教育が注目を集めつつあります。これは、少子化や核家族化、地域の結びつきが弱くなったことなどの現代社会における病理が背景にあります。このゼミナールでは自らのメンタルヘルスにも有効な予防的心理教育について学び、特に子どもの育ちを支える方法について学びます。
授業の概要	理論や方法を学ぶだけでなく、月に1回程度は現場に出て実践をしていきます。

○授業計画		
学修内容		学修課題(予習・復習)
心理臨床を理論的背景とした今日的な子どもとその周りの環境における問題について知識を深め、その一つの解決方法としての予防的心理教育の理論と実践方法を学びます。		その折々で具体的に指示を出します。
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ:ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①心理学に興味を持ち、予防的心理教育の実践に自ら進んで参加できる。
【知識・理解】	②予防的心理教育の理論と方法について理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	③現場において予防的心理教育の実践をおこなうことができる
【思考・判断・創造】	④より有効な介入方法について考えることができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**25点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			**25点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**25点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**25点**
（「人間力」について） ※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	学びの姿勢や実践への参加のあり方などを総合して評価する。